公民的分野指導計画表・評価規準

第１章　現代社会と私たち

◆評価規準の例（章全体）

指導目標	知識・技能
・現代日本の特色として少子高齢化，情報化，グローバル化などが見られることについて理解する。 ・現代社会における文化の意義や影響について理解する。 ・位置や空間的な広がり，推移や変化などに着目して，少子高齢化，情報化，グローバル化などが現在と将来の政治，経済，国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し，表現する。 ・位置や空間的な広がり，推移や変化などに着目して，文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し，表現する。 ・私たちが生きる現代社会と文化の特色について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。 ・現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして，対立と合意，効率と公正などについて理解する。 ・人間は本来社会的存在であることを基に，個人の尊厳と両性の本質的平等，契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解する。 ・対立と合意，効率と公正などに着目して，社会生活における物事の決定の仕方，契約を通した個人と社会との関係，決まりの役割について多面的・多角的に考察し，表現する。 ・現代社会を捉える枠組みについて，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。	○現代日本の特色として少子高齢化，情報化，グローバル化などが見られることについて理解している。 ○現代社会における文化の意義や影響について理解している。 ○現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして，対立と合意，効率と公正などについて理解している。 ○人間は本来社会的存在であることを基に，個人の尊厳と両性の本質的平等，契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解している。
	思考・判断・表現
	○位置や空間的な広がり，推移や変化などに着目して，少子高齢化，情報化，グローバル化などが現在と将来の政治，経済，国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し，表現している。 ○位置や空間的な広がり，推移や変化などに着目して，文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し，表現している。 ○対立と合意，効率と公正などに着目して，社会生活における物事の決定の仕方，契約を通した個人と社会との関係，決まりの役割について多面的・多角的に考察し，表現している。
	主体的に学習に取り組む態度
	○私たちが生きる現代社会と文化の特色について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。 ○現代社会を捉える枠組みについて，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。

第２章　個人の尊重と日本国憲法

◆評価規準の例（章全体）

指導目標	知識・技能
・人間の尊重についての考え方を，基本的人権を中心に深め，法の意義を理解する。 ・民主的な社会生活を営むためには，法に基づく政治が大切であることを理解する。 ・日本国憲法が基本的人権の尊重，国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解する。 ・日本国及び日本国民統合の象徴としての	○人間の尊重についての考え方を，基本的人権を中心に深め，法の意義を理解している。 ○民主的な社会生活を営むためには，法に基づく政治が大切であることを理解している。 ○日本国憲法が基本的人権の尊重，国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解している。 ○日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解している。

指導目標	知識・技能
天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解する。 ・ 対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配などに着目して，対話的な活動を通じ，我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について，多面的・多角的に考察，表現する。 ・ 人間の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。	**思考・判断・表現** ○対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配などに着目して，「ちがいのちがいを追究しよう」などの対話的な活動を通じ，我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について，多面的・多角的に考察，表現している。 **主体的に学習に取り組む態度** ○人間の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。

第 3 章　現代の民主政治と社会

◆評価規準の例（章全体）

指導目標	知識・技能
・ 国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解する。 ・ 議会制民主主義の意義，多数決の原理とその運用の在り方について理解する。 ・ 国民の権利を守り，社会の秩序を維持するために，法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解する。 ・ 地方自治の基本的な考え方について理解させる。その際，地方公共団体の政治の仕組み，住民の権利や義務について理解する。 ・ 対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配，民主主義などに着目して，民主政治の推進と，公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察，構想し，表現する。 ・ 民主政治と政治参加について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。	○国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解している。 ○議会制民主主義の意義，多数決の原理とその運用の在り方について理解している。 ○国民の権利を守り，社会の秩序を維持するために，法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解している。 ○地方自治の基本的な考え方について理解している。その際，地方公共団体の政治の仕組み，住民の権利や義務について理解している。 **思考・判断・表現** ○対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配，民主主義などに着目して，民主政治の推進と，公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について「S 市の市長になって条例を作ろう」などの対話的な活動を通じ，多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 **主体的に学習に取り組む態度** ○民主政治と政治参加について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。

第 4 章　私たちの暮らしと経済

◆評価規準の例（章全体）

指導目標	知識・技能
・ 身近な消費生活を中心に経済活動の意義について理解する。 ・ 市場経済の基本的な考え方について理解させる。その際，市場における価格の決まり方や資源の配分について理解する。 ・ 現代の生産や金融などの仕組みや働きを	○身近な消費生活を中心に，経済活動の意義について理解している。 ○市場経済の基本的な考え方について理解している。その際，市場における価格の決まり方や資源の配分について理解している。 ○現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解している。 ○勤労の権利と義務，労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解している。

指導目標	知識・技能
理解する。 ・ 勤労の権利と義務，労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解する。 ・ 対立と合意，効率と公正，分業と交換，希少性などに着目して，個人や企業の経済活動における役割と責任や，社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について，多面的・多角的に考察し，表現する。 ・ 市場の働きと経済について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。 ・ 社会資本の整備，公害の防止など環境の保全，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化，消費者の保護について，それらの意義を理解する。 ・ 財政及び租税の意義，国民の納税の義務について理解させる。 ・ 対立と合意，効率と公正，分業と交換，希少性などに着目して，市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して国や地方公共団体が果たす役割や，財政及び租税の役割について，多面的・多角的に考察，構想し，表現する。 ・ 国民の生活と政府の役割について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。	○社会資本の整備，公害の防止など環境の保全，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化，消費者の保護について，それらの意義を理解している。 ○財政及び租税の意義，国民の納税の義務について理解している。
	思考・判断・表現
	○対立と合意，効率と公正，分業と交換，希少性などに着目して，個人や企業の経済活動における役割と責任や，社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について，現代社会の生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり，社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり，思考・判断したことを説明したり，それらを基に議論したりしている。 ○対立と合意，効率と公正，分業と交換，希少性などに着目して，市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して国や地方公共団体が果たす役割や，財政及び租税の役割について，現代社会の生活と関連付けて多面的・多角的に考察，構想したり，社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり，思考・判断したことを説明したり，それらを基に議論したりしている。
	主体的に学習に取り組む態度
	○市場の働きと経済について，現代社会に見られる課題の解決に向けた学習を通して，自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。 ○国民の生活と政府の役割について，現代社会に見られる課題の解決に向けた学習を通して，自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。

第 5 章　地球社会と私たち

◆評価規準の例（章全体）

指導目標	知識・技能
・ 世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには，国際協調の観点から，国家間の相互の主権の尊重と協力，各国民の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解させる。その際，領土（領海，領空を含む。），国家主権，国際連合の働きなど基本的な事項について理解する。 ・ 地球環境，資源・エネルギー，貧困などの課題の解決のために経済的，技術的な協力などが大切であることを理解する。 ・ 対立と合意，効率と公正，協調，持続可能性などに着目して，日本国憲法の平和主義を基に，我が国の安全と防衛，国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察，構想し，表現する。 ・ 世界平和と人類の福祉の増大について，現	○世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには，国際協調の観点から，国家間の相互の主権の尊重と協力，各国民の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解している。その際，領土（領海，領空を含む。），国家主権，国際連合の働きなど基本的な事項について理解している。 ○地球環境，資源・エネルギー，貧困などの課題の解決のために経済的，技術的な協力などが大切であることを理解している。
	思考・判断・表現
	○対立と合意，効率と公正，協調，持続可能性などに着目して，日本国憲法の平和主義を基に，我が国の安全と防衛，国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。
	主体的に学習に取り組む態度
	○世界平和と人類の福祉の増大について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く学習に取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。

指導目標	知識・技能
代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。	

終章　より良い社会を目指して

◆評価規準の例（章全体）　　＊は学習指導要領との関連

指導目標	知識・技能	＊
・社会的な見方・考え方を働かせ，私たちがより良い社会を築いていくために解決すべき課題を多面的・多角的に考察，構想し，自分の考えを説明，論述する。 ・私たちがより良い社会を築いていくために解決すべき課題について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く学習に取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。	○持続可能な社会の考えについて，これまでの公民的分野での学習を踏まえて，理解を深めている。 ○環境・エネルギー，人権・平和，伝統・文化，防災・安全，情報・技術などに関わる課題を解決することが，持続可能な社会の形成に必要であることを理解している。	D (2)
	思考・判断・表現	
	○社会的な見方・考え方を働かせ，私たちがより良い社会を築いていくために解決すべき課題を多面的・多角的に考察，構想し，自分の考えを説明，論述している。	
	主体的に学習に取り組む態度	
	○私たちがより良い社会を築いていくために解決すべき課題について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く学習に取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。	